



取扱説明書

エアタワー

AT-930S (スタンド) ITEM No.881163

AT-930K (壁掛け式) ITEM No.881164



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意 について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、一般乗用車および 2 トントラックまでを対象とした、自動車のタイヤへエアを補充するためのエアインフレーターです。

他の用途では絶対に使用しないでください。特に大型トラック、エアホーンなどへの充気や、0 MPa からのタイヤへの充気は本製品の故障となります。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意事項

警告

-  - タイヤに充気する際は、エア漏れがないようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへ正しく押し当ててください。エア漏れの状態で充気すると、正確なエア圧力で充気できずに設定した圧力以上に充気される場合があります、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品は、目盛盤がよく見える位置に設置してください。目盛盤が見づらいと設定値を正しくセットすることができず、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品は使用後、必ずツマミを反時計方向に回し、目盛盤の指針を「0」に戻してください。指針が戻っていない状態のまま、次の使用者が充気作業を実施してしまった場合、正しい設定値での充気とならず、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 設定圧の調整は必ず車両に貼られているタイヤエア圧のラベル内の値を確認した上で、本製品のツマミを時計方向に回して設定値を正しくセットしてご使用ください。正しい設定値を超えて充気してしまった場合、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品の供給圧は 1.0 MPa です。本製品は、元圧（供給圧力）と設定圧力およびタイヤ圧力とのバランスを取りながら充気する構造上、約 0.3 MPa(300 kPa)の差圧が生じます。例えば、元圧が 0.7 MPa であった場合には 400 kPa までしか設定圧をセットすることができず、それでも 400～700 kPa を設定してしまった場合には設定圧以上に充気されてしまう恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 供給エアは必ずエアフィルタやドライヤを介した清浄なエアを供給してください。エアにゴミや水分が含まれている場合、製品の作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。また、本製品には、ミストセパレーターが備わっていますが、清浄な供給エアでなければすぐに目が詰まり、点検時期が早まることにも繋がります。
-  - 本製品を使用する前に、必ずタイヤに劣化や損傷がないことを確認してください。正しい設定圧での充気の場合でも、タイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品は絶対に子供に使用させないでください。誤使用などにより、本製品の破損や充気中では過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

注意

-  - 本製品の設置時に、誤って製品を落としたりしないよう、注意してください。作業者の負傷や本製品が破損する恐れがあります。
-  - 本製品は水平な場所に設置してください。傾斜面での設置は製品の特性上、作動や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。
-  - アンカーにて本製品を固定する際には固定不備がないよう、注意してください。本製品の落下や転倒を招き、作業者の負傷や本製品が破損する恐れがあります。
-  - 本製品の保護等級は IP23 相当です。完全防水ではないため、台風などによる悪天候時は製品内部に浸水してしまう恐れがあります。この場合、製品のカバーを取り外し、内部の水分を除去するなどのメンテナンスを実施してください。（カバー取り付けの際は、パッキンが確実にシートすることを確認してください。）また、直射日光が当たる場所での設置は、部品の早期劣化に繋がる恐れがあります。日常点検にて不具合が見られないか確認してください。
-  - 供給エアの配管は 1/4"以上の配管用炭素鋼鋼管(SGP)を使用してください。1/4"より小さいエア配管の場合、風量が足りず、作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。
-  - 本製品へのエア供給は、コンプレッサーから直接エアを供給するのではなく、減圧弁を介して一定のエア圧が供給されるよう、接続してください。元圧の変動により、供給圧の精度に悪影響を与える恐れがあります。
-  - タイヤへの充気中、ケーシング部に耳を当てないでください。内部から発するベル音により、聴覚障害を負う恐れがあります。
-  - 本製品の使用時、引き出したホースに足を取られないよう、注意してください。
-  - サービスホースへの無理な曲げ、潰れ、引っ張りがかからないように取り扱いには注意してください。サービスホースのひび割れ、破損などの原因となります。
-  - サービスホースに亀裂や穴などが生じた場合、供給エアによりホースが暴れ、物的損害や使用者にケガを負わせる原因となります。日常点検を行い、エアホースに亀裂や穴などがあれば新品と交換してください。
-  - サービスホースはむやみに引きずらないでください。摩耗による損傷が早くなり、サービスホースの寿命が縮まります。
-  - サービスホースには、車両の排気ガスを触れないよう、注意してください。サービスホースが損傷する恐れがあります。
-  - 設定圧力にするために、ツマミを回しても目盛盤の指針が動かない場合には、それ以上ツマミを回さず元圧をチェックしてください。無理に回すと、ツマミを破損させる恐れがあります。
-  - 本製品を清掃する場合など、アクリル材のウィンドウ（目盛盤の手前にある樹脂カバー）には溶剤が触れないよう注意してください。ひび割れの原因となります。
-  - 本製品に使用しているパッキン類に劣化や損傷が見られた場合には、新品と交換してください。
-  - ミストフィルタの水抜き・フィルタ交換時には、供給エアをゼロにしてから作業してください。
-  - 本製品の廃棄時には、誤って製品や部品を落としたりしないでください。作業者が負傷する恐れがあります。

目 次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 使用上の注意事項

目次

1. 各部の名称	1
2. 梱包内容	1
3. 設置	
3.1 AT-930S（スタンド式）の場合	3
3.2 AT-930K（壁掛け式）の場合	5
3.3 コーションカードの取り付け	5
4. 使用方法	6
5. 保守・点検	
5.1 故障の点検とその対策	7
5.2 作業前点検・1 か月定期点検	7
5.3 消耗品一覧	7
6. 組立図・パーツリスト	
6.1 881163 エアタワー（スタンド式）	8
6.2 881164 エアタワー（壁掛け式）	9
6.3 805097 本体内部組立	10
7. 仕様	11
8. 本製品設置例	11
9. 製品保証登録シート	12
10.保証規定	13

1. 各部の名称



2. 梱包内容

本製品は、エアタワー本体とスタンドに分割して段ボール箱に各々梱包してあります。(AT-930S の場合)

開梱後、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部および配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。

リスト

品目番号	名 称	員数	881163 AT-930S	881164 AT-930K
881163	エアタワー	1	●	●
805101	サービスホース組立	1	●	●
680878	セットアンカー	4	●	●
686717	ワイヤー（コーションカード 取り付け用）	1	●	●
791570	コーションカード	1	●	●
AUT 085U	取扱説明書	1	●	●
AUT 091U	点検表	1	●	●
805102	スタンド組立	1	●	-

3. 設置

警告

-  - 本製品は、目盛盤がよく見える位置に設置してください。目盛盤が見づらいと設定値を正しくセットすることができず、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品の供給圧は 1.0 MPa です。本製品は、元圧（供給圧力）と設定圧力およびタイヤ圧力とのバランスを取りながら充填する構造上、約 0.3 MPa（300 kPa）の差圧が生じます。例えば、元圧が 0.7 MPa であった場合には 400 kPa までしか設定圧をセットすることができず、それでも 400～700 kPa を設定してしまった場合には設定圧以上に充気されてしまう恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 供給エアは必ずエアフィルタやドライヤを介した清浄なエアを供給してください。エアにゴミや水分が含まれている場合、製品作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。また、本製品には、ミストセパレーターが備わっておりますが清浄な供給エアでなければすぐに目が詰まり、点検時期が早まることにも繋がります。

注意

-  - 本製品の設置時に、誤って製品を落としたりしないよう、注意してください。作業者の負傷や本製品が破損する恐れがあります。
-  - 本製品は水平な場所に設置してください。傾斜面での設置は製品の特性上、作動や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。
-  - アンカーにて本製品を固定する際には固定不備がないよう、注意してください。本製品の落下や転倒を招き、作業者の負傷や本製品が破損する恐れがあります。
-  - 本製品の保護等級は IP23 相当です。完全防水ではないため、台風などによる悪天候時は製品内部に浸水してしまう恐れがあります。この場合、製品のカバーを取り外し、内部の水分を除去するなどのメンテナンスを実施してください。（カバー取り付けの際は、パッキンが確実にシートすることを確認してください。）また、直射日光が当たる場所での設置は、部品の早期劣化に繋がる恐れがあります。日常点検にて不具合が見られないかご確認ください。
-  - 供給エアの配管は 1/4" 以上の配管用炭素鋼鋼管（SGP）を使用してください。1/4" より小さいエア配管の場合、風量が足りず、作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。
-  - 本製品へのエア供給は、コンプレッサーから直接エアを供給するのではなく、減圧弁を介して一定のエア圧が供給されるよう、接続してください。元圧の変動により、供給圧の精度に悪影響を与える恐れがあります。

3.1 AT-930S（スタンド式）の場合

取付ブラケットの取り付け向きの変更が必要です。

取付ブラケットは、AT-930S と AT-930K で共通部品を使用しますが、取り付けの向きに違いがあります。

AT-930S をご購入頂いた際も、AT-930K の取り付け状態で納品されますので、＜AT-930S の組立準備＞に従って作業してください。

＜セットアンカー取り付け工事＞

- 1) 本製品の取り付け位置（平らな場所）に、付属のセットアンカー4本を打ち込んでください。セットアンカーは $\phi 12.7$ のドリルを使用し、Fig.1 の穴位置、穴の深さ約 62 mm の下穴 4 か所をあけ、確実に打ち込んでください。
- 2) セットアンカーに本製品を取り付け、ナットにて確実に締め付け、固定してください。

＜AT-930S の組立準備＞

- 1) エアタワー本体（AT-930K）の、ボルト M8 $\times$ 1.25 $\times$ 16（4 本）を取り外し、本体ベース組立から取付ブラケットを取り外してください。
- 2) 取付ブラケットの取付面を変更（Fig.2 $\rightarrow$ Fig.3）し、再び六角ボルト M8 $\times$ 1.25 $\times$ 16（4 本）にて本体ベース組立へ取り付けてください。（板金折り曲げ部が、本体ベース組立側に来るような取り付け方法 Fig.3 参照）
- 3) スタンド組立を用意し、ボルト M8 $\times$ 1.25 $\times$ 80 を 2 本取り外してください。
- 4) エアタワー本体を持ち、取付ブラケットにスタンド組立のパイプ部を差し込み、3) で取り外したボルト 2 本を取付穴に差し込んでください。このとき、エアタワー本体に接続されている IN 側エアホースを、スタンド組立の穴の中に通しながら作業してください。（Fig.4）

なお、取付穴を変えることで目盛盤を見る際の角度が 5°、18.5°、32°の 3 種類の中から選択することが可能です。取り付け状況に応じて、最適な取り付け角度の穴を使用してください。

- 5) フクロナット M8 $\times$ 1.25 を 2 個用いて、4) で差し込んだボルト 2 本を確実に固定してください。
- 6) サービスホースのテーパネジ部（R1/4"オス）の先端にシールテープを巻き、エアタワー本体底面のサービスホース接続口（Rc 1/4"メス）へ確実に接続し、漏れがないことを確認してください。
- 7) タイヤチャックノズルをサービスホースに確実に接続し、漏れがないことを確認してください。

Fig. 1

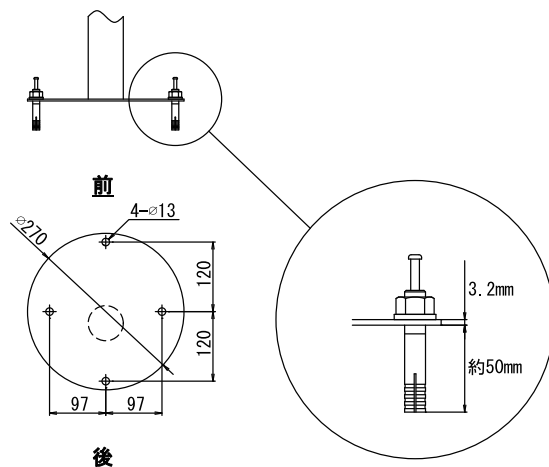


Fig. 2

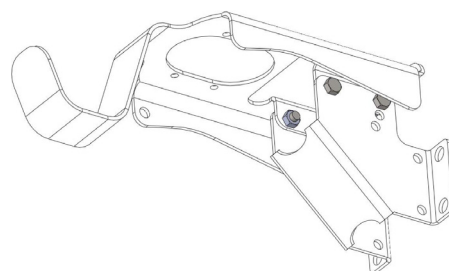
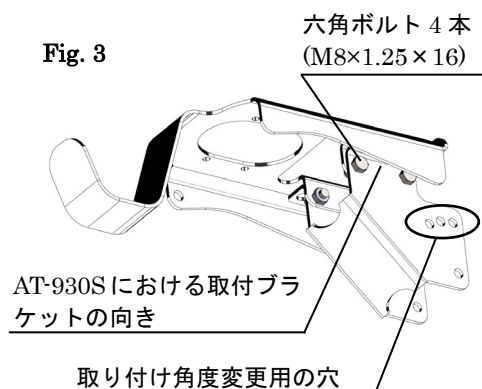


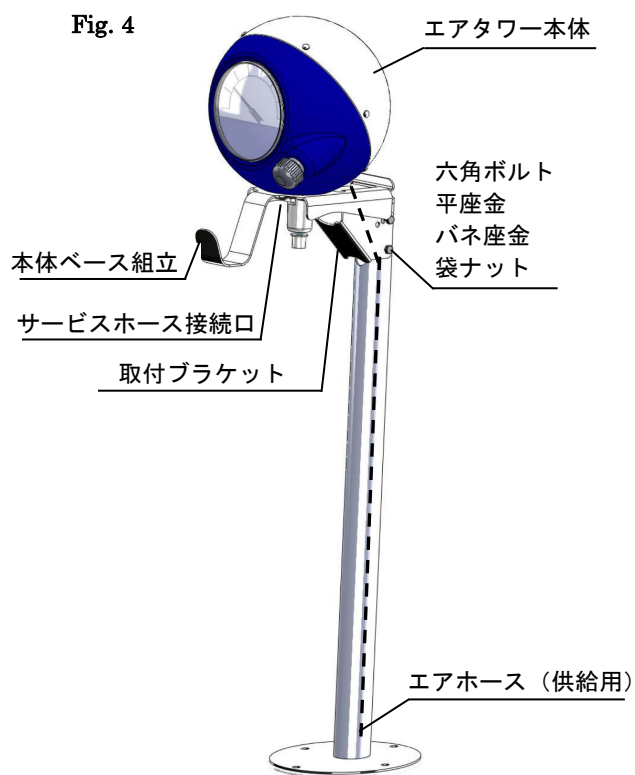
Fig. 3



<エア配管工事>

- 1) 取り付け位置まで供給エアの配管工事を行ってください。エア配管材は 1/4"以上の配管用炭素鋼鋼管（SGP）を使用してください。
- 2) エアタワーにエア供給する配管途中にエアフィルタやドライヤがない場合には、各々接続してください。また、ボールバルブも接続しておくと、今後のメンテナンス時に効率よく作業を行うことが可能になります。
- 3) 配管工事終了後、本製品に接続する前にエアを通し、配管内の切粉・ゴミなどを取り除いてください。
- 4) エアタワー本体に接続されている IN 側ホースを、エア配管に接続してください。なお、IN 側ホースの端面は、切りっぱなしの状態です。1/4"用タケノコ形状のフィッティングを別途用意し、接続してください。
- 5) 元圧（1 MPa）を供給してください。

Fig. 4



3.2 AT-930K（壁掛け式）の場合

<セットアンカー取り付け工事>

- 1) 本製品の取り付け位置（平らな壁面）に、付属のセットアンカー4本を打ち込んでください。セットアンカーは $\phi 12.7$ のドリルを使用し、Fig.5 の位置に、穴の深さ：約 62 mm の下穴 4 か所を明け、確実に打ち込んでください。
- 2) セットアンカーに本製品を取り付け、ナットにて確実に締め付け固定してください。

<AT-930K の組立準備>

- 1) サービスホースのテーパネジ部（R1/4"オス）の先端にシールテープを巻き、エアタワー本体底面のサービスホース接続口（Rc 1/4"メス）へ確実に接続し、漏れがないことを確認してください。
- 2) タイヤチャックノズルをサービスホースに確実に接続し、漏れがないことを確認してください。

<エア配管工事>

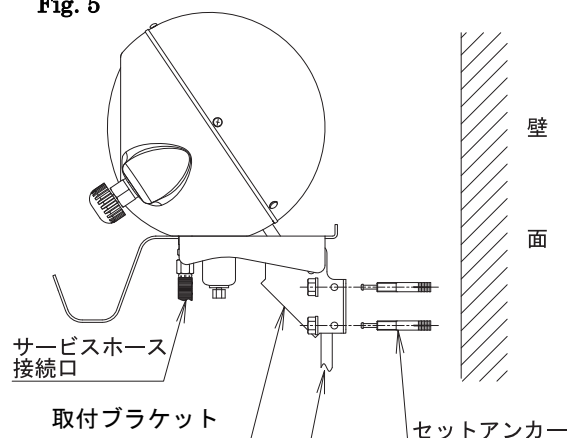
- 1) 取り付け位置まで供給エアの配管工事を行ってください。エア配管材は 1/4"以上の配管用炭素鋼鋼管（SGP）を使用してください。
- 2) エアタワーにエア供給する配管途中にエアフィルタやドライヤがない場合には、各々接続してください。また、ボールバルブも接続しておくと、今後のメンテナンス時に効率よく作業を行うことが可能になります。
- 3) 配管工事終了後、本製品に接続する前にエアを通し、配管内の切粉ゴミなどを取り除いてください。
- 4) エアタワー本体に接続されている IN 側ホースを、エア配管に接続してください。なお、IN 側ホースの端面は、切りっぱなしの状態です。1/4"用タケノコ形状のフィッティングを別途用意し、接続してください。
- 5) 元圧（1 MPa）を供給してください。

3.3 コーションカードの取り付け

本製品にはコーションカードが付属されています。このコーションカードは実際に本製品を使用されるお客様に対する最低限守って頂きたい注意事項が記載されています。本製品の近くの見やすい位置に取り付けてください。

本製品に取り付ける場合は、付属のワイヤーを用いて取り付けてください。（Fig. 8）

Fig. 5



IN側エアホース（供給用）
エア配管と接続する際には別途1/4"用のタケノコ形状のフィッティングが必要となります。

Fig. 6

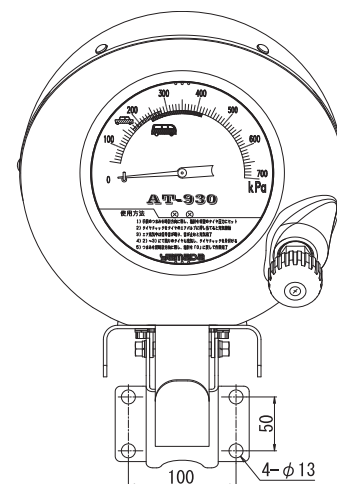


Fig. 7

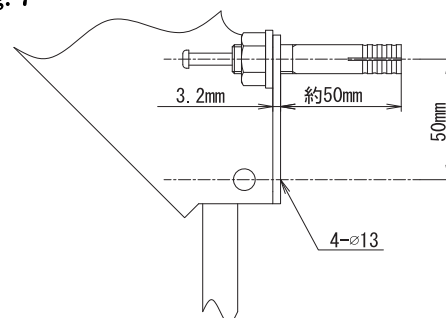


Fig. 8



4. 使用方法

⚠ 警告

- ❗ - タイヤに充気する際は、エア漏れがないようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへ正しく押し当ててください。エア漏れの状態で充気すると、正確なエア圧力で充気できずに設定した圧力以上に充気される場合があります、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
- ❗ - 設定圧の調整は必ず車両に貼られているタイヤエア圧のラベル内の値を確認した上で、本製品のツマミを時計方向に回して設定値を正しくセットしてご使用ください。正しい設定値を超えて充気してしまった場合、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
- ❗ - 本製品を使用する前に、必ずタイヤに劣化や損傷がないことを確認してください。正しい設定圧での充気の場合でも、タイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
- 🚫 - 本製品は絶対に子供に使用させないでください。誤使用などにより、本製品の破損や充気中では過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

⚠ 注意

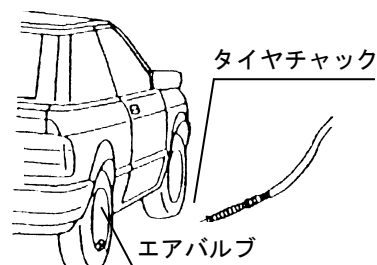
- 🚫 - タイヤへの充気中、ケーシング部に耳を当てないでください。内部から発するベル音により、聴覚障害を負う恐れがあります。
- ❗ - 本製品の使用時、引き出したホースに足を取られないよう、注意してください。
- ❗ - サービスホースへの無理な曲げ、潰れ、引っ張りがかからないように取り扱いには注意してください。サービスホースのひび割れ、破損などの原因となります。
- ❗ - サービスホースに亀裂や穴などが生じた場合、供給エアによりホースが暴れ、物的損害や使用者にケガを負わせる原因となります。日常点検を行い、エアホースに亀裂や穴などがあれば新品と交換してください。
- 🚫 - サービスホースはむやみに引きずらないでください。摩耗による損傷が早くなり、サービスホースの寿命が縮まります。
- ❗ - サービスホースには、車両の排気ガスを触れないよう、注意してください。サービスホースが損傷する恐れがあります。
- ❗ - 設定圧力にするため、ツマミを回しても目盛盤の指針が動かない場合には、それ以上ツマミを回さず元圧をチェックしてください。無理に回すと、ツマミを破損させる恐れがあります。

- 1) エアタワー本体手前のツマミを時計方向に回し、目盛盤の指針を希望するタイヤ圧力に合わせてください。
- 2) サービスホースをホース掛けから取り出し、サービスホースのタイヤチャックの口金を充気したいタイヤのエアバルブに垂直に押し当てると、タイヤへの充気が開始され、信号音が鳴ります。
- 3) タイヤの圧力が設定圧に達すると、自動的に充気が終了し、信号音も止まります。これでタイヤへの充気は終了です。
- 4) サービスホースをホース掛けに収納してください。

Fig. 9



Fig. 10



5. 保守・点検

5.1 故障の点検とその対策

状況	点検項目	対策
● タイヤ圧と設定圧が同圧になっても信号音が止まらない	● 元圧が正常に供給されているか ↓	元圧を 1 MPa に設定してください 風量を確保してください 漏れ、緩みを点検し、増し締め
	● ホースジョイント部に漏れはないか ↓	ホースの交換
	● エアタワー内部のエアチューブの外れ ↓	点検、補修
	● バランシングバルブ、分配器の不良	サービスを依頼してください
● タイヤへの供給エアが止まらない	● バランシングバルブ、分配器の不良 (シート面のゴミ詰まり)	サービスを依頼してください
● エアは入っているが信号音がしない	● 元圧が正常に供給されているか ↓	元圧を 1 MPa に設定してください 風量を確保してください
	● バランシングバルブ組立の故障 ↓	バランシングバルブ組立の交換
	● エアタワー内部のエアチューブの潰れ	サービスを依頼してください
● 設定圧に対しタイヤ圧が同圧にならない	● 元圧が正常に供給されているか ↓	元圧を 1 MPa に設定してください 風量を確保してください
	● 圧力計の不良	サービスを依頼し圧力計を交換
	● バランシングバルブ組立、分配器の不良	サービスを依頼してください
● ツマミを回しても指示圧が上がらない	● 元圧が正常に供給されているか ↓	元圧を 1 MPa に設定してください 風量を確保してください
	● 固定減圧弁のセット圧不良 ↓	調整
	● エアタワー内部のエアチューブの潰れ	サービスを依頼してください
● ツマミの動きが悪い	● ツマミに埃・ゴミの付着	点検またはサービスを依頼してください
	● レギュレーター故障	

● セットツマミを操作しただけで信号音が出る場合がありますが、これは故障ではありません。

5.2 作業前点検・1 か月定期点検

同梱されている、「Doc. No. AUT 091U エアタワー (AT-930S、AT-930K) 点検表」を参照してください。

5.3 消耗品一覧

推奨交換時期は目安です。保障する期間ではありません。

使用環境や使用条件、使用頻度などにより交換時期が早まる場合があります。特に直射日光の下では紫外線などによる影響で樹脂製品の早期劣化が想定されますので、点検時に確認してください。

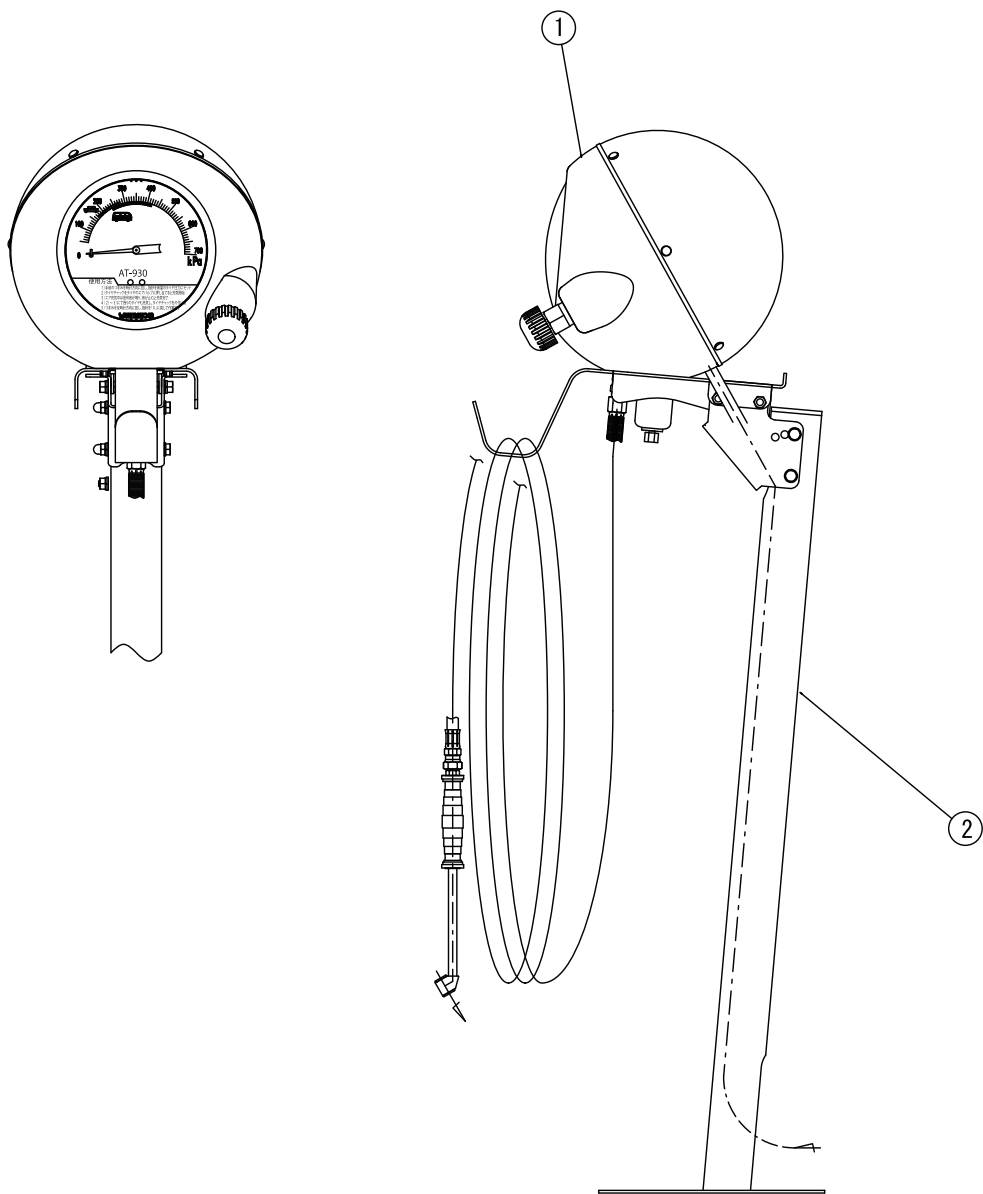
(「6. 組立図・パーツリスト」参照)

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期	部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期
570117	エアチューブ	3/台	約 5年	695697	サービスホース (10 m)	1/台	約 1年
570118	エアチューブ	5/台	約 5年	770661	パッド	1/台	約 3年
682658	圧力計本体	1/台	約 3年 *1	805099	バランシングバルブ組立	1/台	約 3年 *1
686726	ミストセパレーター	1/台	約 2年 *2	773275	パッキン	1/台	約 2年
686730	タイヤチャックノズル	1/台	約 1年	773274	ガasket	1/台	約 2年
695490	エアホース (2.5 m)	1/台	約 1年				

*1 圧力計、バランシングバルブについては、メンテナンス依頼をしてください。

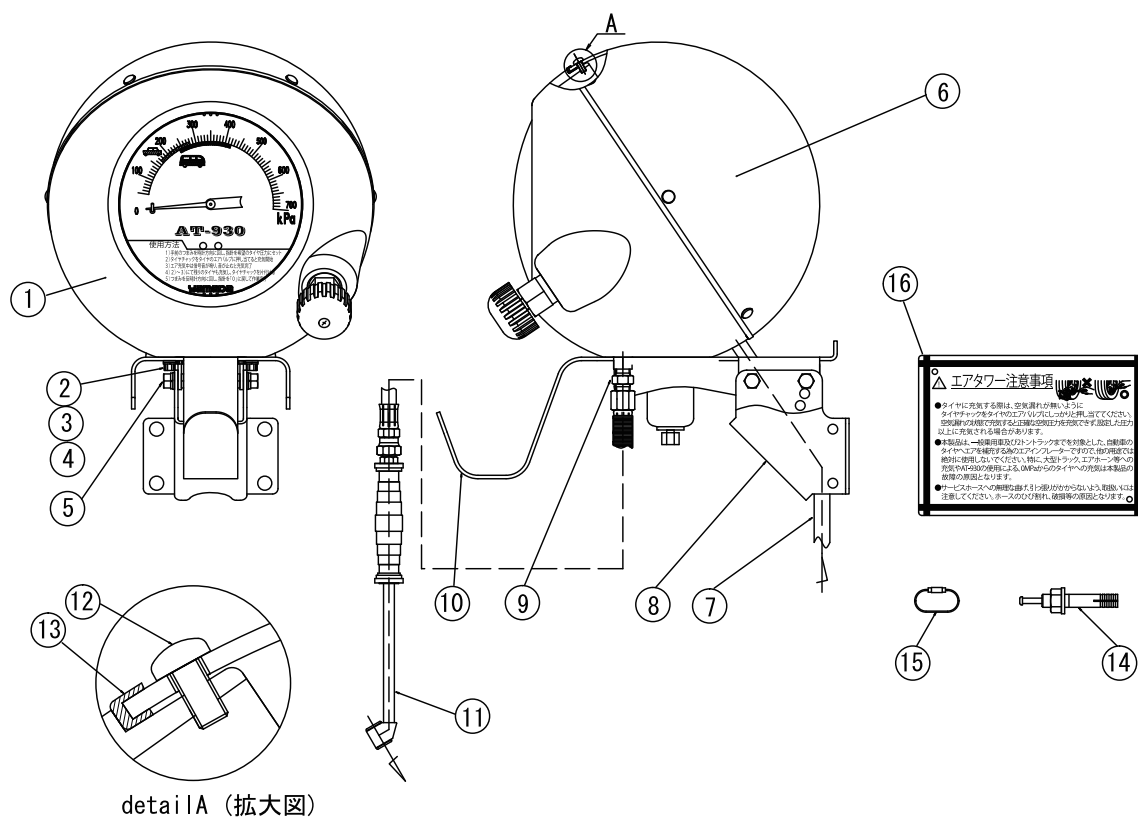
*2 ミストセパレーター内部のエレメントを交換してください。

6. 組立図・パーツリスト
6.1 881163 エアタワー（スタンド式）



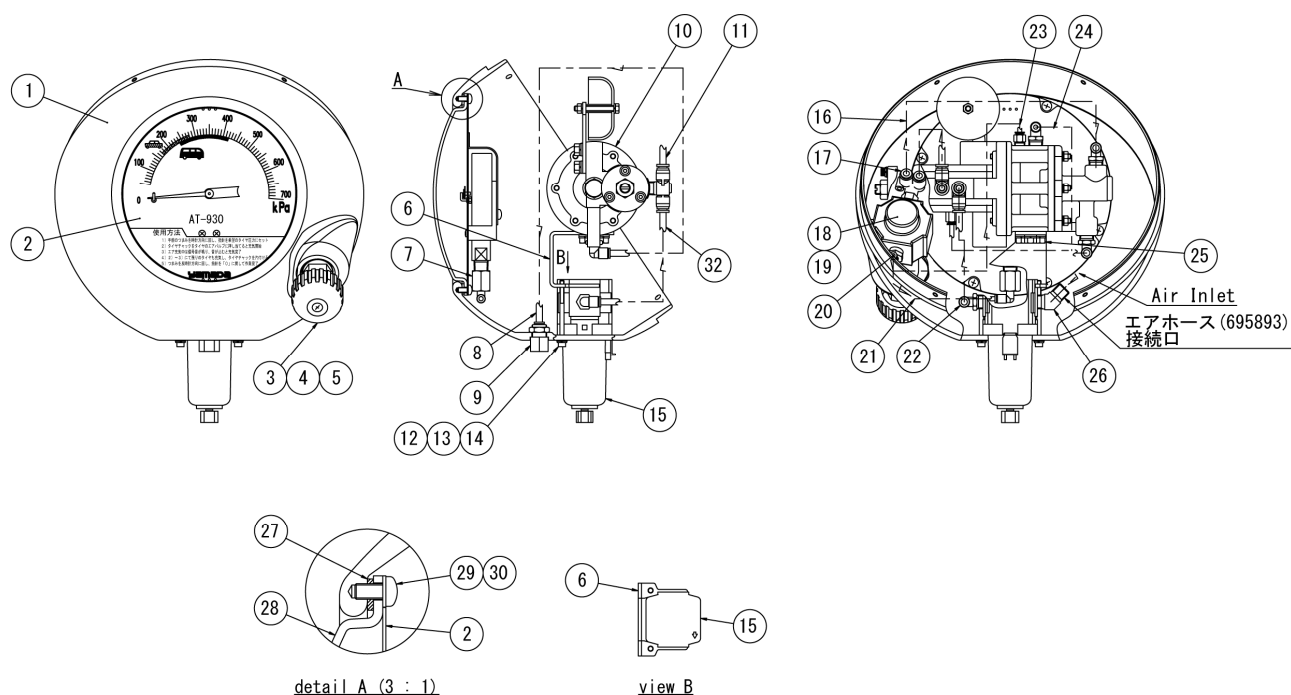
No.	部品番号	部品名称	員数
1	881164	エアタワー	1
2	805102	スタンド組立	1

6.2 881164 エアタワー（壁掛け式）



No.	部品番号	部品名称	員数
1	805097	本体内部組立	1
2	681851	六角穴付きボルト	4
3	681855	バネ座金	4
4	631172	平座金	4
5	682872	ボルト	4
6	780290	カバー	1
7	695490	エアホース	1
8	716938	取付ブラケット	1
9	682284	ニップル	1
10	833112	本体ベース組立	1
11	805101	サービスホース組立	1
12	609018	トラス小ネジ	6
13	773274	ガスケット	1
14	680878	セットアンカー	4
15	686717	ワイヤー	1
16	791570	コーションカード	1

6.3 805097 本体内部組立



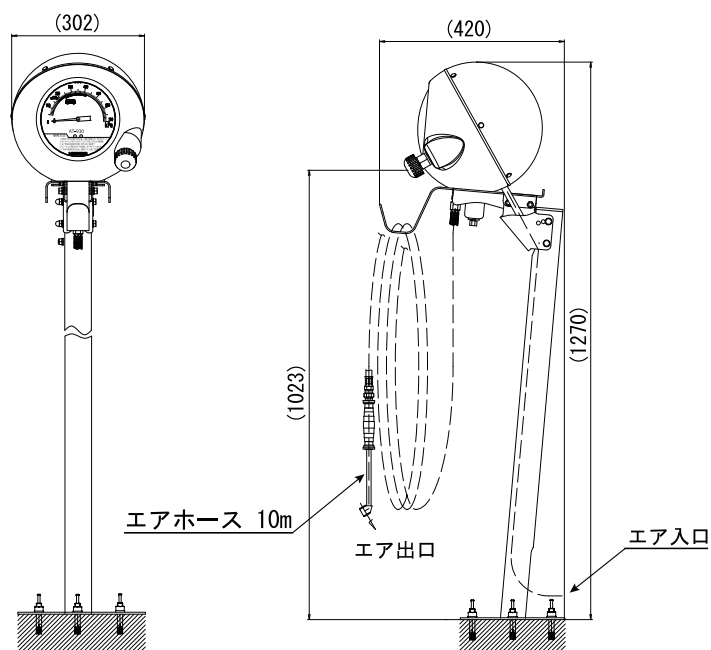
No.	部品番号	部品名称	員数	No.	部品番号	部品名称	員数
1	716882	本体	1	17	684151	エルボフィッティング	1
2	805098	圧力計組立	1	18	687015	エアレギュレーター	1
3	716936	ニギリ	1	19	801350	リリース体組立	1
4	682657	六角穴付きキボルト	1	20	686727	フィッティング	1
5	804060	調整ボルト組立	1	21	805100	エアチューブ組立	1
6	717541	取付ブラケット	1	22	682649	エルボフィッティング	1
7	686293	エルボフィッティング	1	23	570117	エアチューブ	1
8	570118	エアチューブ	1	24	570117	エアチューブ	1
9	682877	フィッティング	1	25	682262	ばね座平座付きボルト	3
10	805099	バルancingバルブ組立	1	26	682380	エルボ	1
11	570118	エアチューブ	1	27	773275	パッキン	1
12	687348	六角穴付きボルト	2	28	780289	ウィンドウ	1
13	631171	平座金	2	29	686728	タッピンネジ	8
14	681493	バネ座金	2	30	631011	平座金	4
15	687347	ミストセパレーター	1	32	570118	エアチューブ	1
16	570118	エアチューブ	1				

7. 仕様

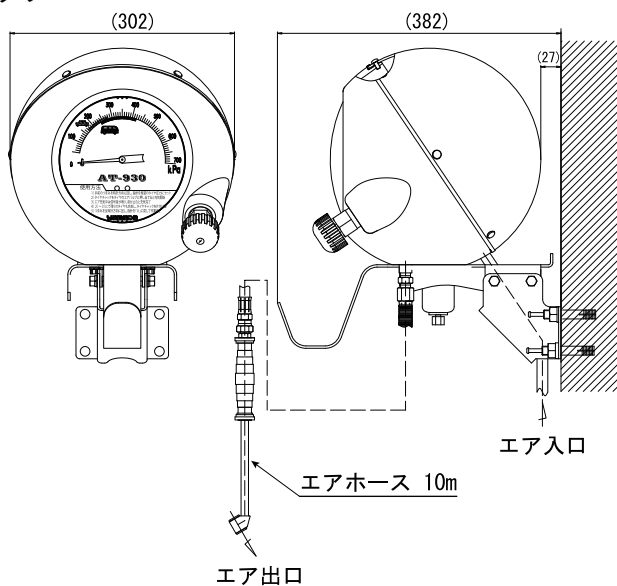
製品番号	型 式	主要性能	外観寸法	標準付属品
881163	AT-930S (スタンド式)	元圧：1 MPa±0.05 設定圧力範囲：50 kPa～700 kPa 最小目盛：10 kPa 使用温度範囲：-5～60 ℃	全高：1,270 mm 全巾：302 mm 奥行：420 mm 質量：15.4 kg	サービスホース.....1 (10 m/タイヤチャック付き) セットアンカー.....4 コーションカード.....1 ワイヤー.....1
881164	AT-930K (壁掛け式)	充填速度：タイヤ 155/80 R13 で 100 kPa→200 kPa に昇圧 11 秒程度 保護等級：IP23 相当	全高：424 mm 全巾：302 mm 奥行：382 mm 質量：11.0 kg	

8. 本製品設置例

■ AT-930S スタンド式エアタワー



■ AT-930K 壁掛け式エアタワー



9. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____		ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

10. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055